

ガバメントクラウド以外のクラウド環境へ移行する場合の疎明

市区町村名： あま市

1. 性能面・経済合理性の比較結果

性能面・経済合理性等を比較衡量した結果、以下のシステムについては、ガバメントクラウド以外へのクラウド環境（日本電子計算株式会社のJip-Base）に構築されるシステムに移行することとする。

・児童手当、子ども・子育て支援、住民基本台帳、印鑑登録、選挙人名簿管理、固定資産税、個人住民税、法人住民税、軽自動車税、就学、健康管理、児童扶養手当、生活保護、障害者福祉、介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金

比較衡量した結果は以下の比較表に示すとおりである。なお、経済合理性については、ガバメントクラウド投資対効果計算シート（令和4年9月16日デジタル庁）を基に各ベンダーが積算した金額を計上している。

(比較表)

		移行するクラウド環境名 (Jip-Base)	ガバメントクラウド (AWS)
性能面	非機能要件への適合	○	○
	DCの物理的所在地	日本	日本
	情報資産の国外持出制限の有無	有	有
	ガバメントクラウドとのデータ連携の可否	○ (別紙のとおり)	-
	裁判管轄が国内で契約が日本法に基づくもの	○	○
経済合理性	移行時の経費（イニシャルコスト） 単位：円（税抜き）	223,891,000	223,891,000
	移行後の経費（ランニングコスト） 単位：円／年（税抜き）	171,147,600	205,128,509
	その他経費比較		
その他重要な比較項目等	(※比較に当たってその他重要な項目があれば記載)		ガバメントクラウド及びネットワーク運用管理補助に係る費用については、一部のシステムしか見積りが取得できなかったため、全システムがガバメントクラウドで稼働する場合は、イニシャルコスト及びランニングコストがより高額なものとなる見込み。

(別紙)

市区町村名：

ガバメントクラウドとの連携について

回線事業者との協議開始から1ヶ月の作業期間で、Jip-Baseとガバメントクラウド上の標準準拠システム等（国が立ち上げるVRS等のような緊急サービスを含む。）をデータ要件・連携要件に従って連携できる旨、回線事業者等と調整済み。

■ 団体名： あま市

■ 比較対象環境： ガバメントクラウド以外のクラウド

為替レート：1ドル = ¥151
(税抜き)

経費区分			ガバメントクラウド以外を利用	ガバメントクラウドを利用
イニシャルコスト	作業費	カスタマイズ費	¥0	¥0
		環境構築費	¥74,005,000	¥74,005,000
		データ移行費	¥56,580,000	¥56,580,000
		他システム連携機能構築作業費	¥27,334,000	¥27,334,000
		操作マニュアル作成・職員研修費	¥41,100,000	¥41,100,000
		プロジェクト管理費	¥24,872,000	¥24,872,000
イニシャルコスト計			¥223,891,000	¥223,891,000
ランニングコスト ※	作業費	システム運用作業	¥0	¥58,320,000
		ハードウェア保守作業	¥37,200,000	¥59,820,000
		その他外部委託費	¥0	¥0
	作業費計		¥37,200,000	¥118,140,000
	物品費	ハードウェア借料	¥49,398,000	¥74,258,400
		ハードウェア保守費	¥0	¥0
		ソフトウェア借料	¥318,060,000	¥318,060,000
		ソフトウェア保守費	¥303,180,000	¥303,180,000
		データセンター利用費	¥0	¥0
		通信回線費	¥36,900,000	¥2,894,000
		クラウド利用経費	¥111,000,000	¥209,110,145
	物品費計		¥818,538,000	¥907,502,545
	ランニングコスト計			¥855,738,000
合計			¥1,079,629,000	¥1,249,533,545

※5年間のランニングコスト